

Energy Challenge Okinawa 2016 国際競技大会 実施要項

E C O2016国際競技大会
実行委員長 宮里 大八

日頃より教育・人材育成活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、世界190以上の国と地域が参加するCOP21において、温室効果ガス削減目標値等の具体的指標を示したパリ協定が、CO2二大排出国である米中を含む世界的合意に基づき批准され、そしてこの10月に発効となりました。

一方、日本はこれまで工業分野で卓越した技術を磨き上げ、自動車や電気機器をはじめとする多様な製品を世界に送り出し外貨を獲得することで、今日の豊かな社会を築き上げてきました。しかしながらアジアの経済振興にともなう産業人材育成のスピードはめざましく、プロジェクトベースで学ぶ学習体系の中で、非常に高い実践力を身につける人材を輩出しており、この分野における人材の層の厚さは日本とは圧倒的に違う状況です。

本競技会では、学生、企業エンジニアが手作りの電気自動車で、わずか4Ahの50ccスクーター用小型鉛蓄電池を4個を使用し、制限時間内でいかに長距離を走るかを競います。争点は、車両の基幹部位である機械分野だけでなく、高効率電気回路を実現するためのパワーエレクトロニクス分野、エネルギー消費状況やGPS、加速度センサを活用した車体の動的変化量の数値をリアルタイムで把握するための携帯電話広域ネットワークを活用した無線情報通信システム（データテレメトリー）の分野など、若き技術者を養成するプラットフォームとして世界的地位を有している人材育成の場でもあります。高効率・省エネルギー技術の先進国である日本にとって、今後も国際競争力や技術的優位性を堅持していくために、この分野における人材育成は国の根幹に関わる最優先事項であると言えます。

このたび沖縄県豊見城市の協力のもと、一般のエンジニアや、中高生高専、大学生等の理工系の人材育成や人材の国際交流の場として、手づくり電気自動車「エコランカー」による省エネルギー競技大会や本事業を下記の通り開催することになりました。参加者には、沖縄県や本土からの学生チームに加え、企業エンジニアチームやアジアの理工系大学チームが名を連ねております。

つきましては、事業の趣旨をご理解頂き、本競技大会へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業計画

1. 名 称 Energy Challenge Okinawa 2016国際競技大会
2. 日 時 12/28 (水) 14:00~15:00 練習走行
12/29 (木) 6:30~18:00 受付、車検・フリー走行、開会式(正午)、本戦
12/30 (金) 8:30~13:00 表彰式、EV技術講習会(学生・指導者大賞)
企業エンジニアによるキャリアトークイベント
※詳細は3頁11項「大会スケジュール」を参照
3. 主 催 ECO2016国際競技大会実行委員会
4. 後 援 豊見城市、豊見城市教育委員会、
内閣府総合事務局(調整中)、沖縄県文化スポーツ部(調整中)
5. 競技会場 豊崎海浜公園 美らSUNビーチ 〒901-0225 沖縄県豊見城市字豊崎5-1
6. 競 技 12/29 (木) 90分×2ヒート制
○開催クラス WEM、高校エコデンカーも出走可能
○表彰 中学生、高校生、高専・大学、社会人、車両部門別
7. 対 象 一般、企業、大学生、中高校生等
8. 競技参加費 中高生5,000円、大学・高専18,000円、一般社会人28,000円
9. 講習会費 学生500円、一般2,000円(テキスト代実費)
10. 表彰式及び講習会会場 12/30 (金) 8:00受付開始
ホテルグランビューガーデン会議室
会場: 〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-82
<http://www.granview.co.jp/garden-okinawa/>

11. 大会スケジュール

	12/28 (木)	12/29 (金)
6:30		※空港ピックアップ出発 ゲートオープン、受付開始
7:00		車検／ドライバー、装備品チェック
8:00	オフィシャルスタッフ会場集合 ミーティング	車検／フリー走行用バッテリー配布
9:00	トランスポンダー設置 コース保安アイテム設置 マーカー、グリッド設置	車検 ドライバー、チームリーダー ブリーフィング コース清掃
10:00	※空港ピックアップ出発	10:00 フリー走行 (45分間) 10:50 ゆい橋通行 競技車両STOP
11:00	トランスポンダー動作確認	チームリーダーブリーフィング
12:00	受付オープン フリー走行用バッテリー配布	12:00グリッドに車両設置完了 開会式 12:30 バッテリー配布
13:00	コース清掃／各チームはホウキを準備すること。 走行前ブリーフィング	13:00 ヒート1スタート
14:00	フリー走行 (45分間)	14:30 ヒート1チェッカー 14:40 チェッカー終了／ゆい橋通行 競技車両STOP
15:00	ドライバー、チームリーダー ブリーフィング	15:15 グリッド車両配置完了 15:30 ヒート2スタート
16:00		
17:00		17:00 ヒート2チェッカー 17:10 チェッカー終了／ゆい橋通行 競技車両STOP
18:00	※空港ピックアップ出発	暫定順位発表 フリー走行用バッテリー回収 本専用バッテリー回収 トランスポンダー回収 各チーム片付け
18:30		撤収完了 ※会場ピックアップ出発 19:00～ 懇親会、忘年会

※ 空港ピックアップ出発・・・那覇空港を出発、会場到着の平積みトラックの運行スケジュール

※ 会場ピックアップ出発・・・会場を出発、那覇空港到着の平積みトラックの運行スケジュール

※ トラックは人員の乗車はできないので、各チームで移動手段は確保すること。

※ トラックは事前申し込みのみ対応する。前もって主催者に申請をすること。

12. 技術講習会 12/30 (土) 会場：ホテルグランビューガーデン会議室

会場：〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-82 <http://www.granview.co.jp/garden-okinawa/>

8:00	製作技術講習会 受付オープン	
8:30	1. 電気自動車普及実用化への挑戦	古河電池 熊谷 枝折 氏
9:00	2. 世界5位のスピード人力自転車の開発と世界最高速への挑戦	ZDP 池上 敦哉 氏
10:45	3. エポルタチャレンジ 南ア豪州の国際競技 エネルギーマネジメント初級編	東海大学 木村 英樹 氏
10:30	4. デスクトップ環境で行うCFD 車両の空力性能の解析	PROJECT MONO (WEMGP2015チャンピオン) 新井 英行 氏
11:10	5. 工業高校でのブレインスポーツ チームづくりと運営、製作	宮崎工業高校 山本 智弘 氏 エコデン全国大会2016全国制覇チーム指導者
11:50	6. EV競技における、全国制覇、 連覇までの道のりと新たな挑戦	PROJECT MONO (WEMGP2015チャンピオン) TEAM RED ZONE 車両開発責任者 山本晴彦
12:30	(昼食休憩) 表彰式/各部門別	

午後 【別イベント】 キャリア教育シンポジウム (主催：STEMおきなわ)

13:00	1. 工業高校という進路選択と、 エンジニアリングという名の ライフワーク	中島 亨 氏 ・トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 PROJECT MONO◇TTDC所属 ・担当業務:リバースエンジニアリング ・出身校:愛知県立東山工業高校 機械科 学生時代にエコランと出会い、ホンダエコマイ レჯマラソン鈴鹿大会、もてぎ全国大会に出場 し、好成績を収める。TTDCに入社後は電気自動車 レースであるWEMGPIに参戦し、2015年に年間優 勝を飾る。
13:30	2. 工業高校という進路選択と、 エンジニアリングという名の ライフワーク	兼元 彬嘉 氏 ・世界三大規模の印刷会社凸版印刷株式会社 生産技術部所属 ・長嶺中学校工学部キャプテンとして全国初の中学 生ソーラーカーレースチームを率いて鈴鹿サーキット 国際大会出場を実現。大学進学し、中学からの念 願であった、ソーラーカーによる豪州大陸3000km 縦断挑戦の夢を実現させた。
13:50	2. ライブトーク 学生時代のものづくり体験や 成し遂げ体験がもたらすこと	中島 亨 氏、山本 晴彦 氏、兼元 彬嘉 氏、 他、大学生2名、社会人2名 進行：飯塚 悟
14:20	3. フリートーク 進路質問タイム	参加する学生は興味のある業種の講師のテーブルに 分かれて、進路に関する質問に答えます。
15:00	解散 (予定)	

13. 大会組織

1	実行委員長 ／兼任 国際連携コーディネーター	宮里 大八	琉球大学地域連携推進機構 特命准教授
2	技術アドバイザー（エネルギー）	瀬名波 出	琉球大学工学部 准教授
3	技術アドバイザー（車体／機械）	高橋 功	日本工科大学校の文科省委託事業「成長分野等における中核的専門 人材育成等の戦略的推進」事業 次世代自動車エキスパート育成教育 プログラム開発事業委員
4	技術アドバイザー（電気回路）	山本智弘	宮崎県立宮崎工業高校 エコデンレース全国大会2016 全国優勝チーム指導者
5	事務局長	飯塚 悟	STEAMおきなわ
6	事務局副長	新垣 浩	STEAMおきなわ
7	事務局副長	島仲 圭子	STEAMおきなわ
8	事務局員	宮里 宗一郎	STEAMおきなわ
9	事務局員	新垣 浩一郎	STEAMおきなわ

14. 外部協力者

1	アドバイザー	熊谷 枝折	古河電池株式会社 経営戦略企画室兼 新事業推進室 マグネシウム循環社会協議会
2	アドバイザー	木村 英樹	東海大学工学部教授
3	アドバイザー	池上 敦哉	ZDP
4	アドバイザー	土井 博文	クリーン・エネルギー・アライアンス
5	計測	伊藤 譲	クリーン・エネルギー・アライアンス
6	計測	若松 尚利	クリーン・エネルギー・アライアンス
7	計測	佐藤 治	クリーン・エネルギー・アライアンス



グランビューホテル周辺（コース北東側）

- ・グランビューホテル前での競技車両の通行は左側一車線（海側）のみ。見通しはよい
- ・パイロンとジョイントバーで約100m手前から道幅減少、競技車両の通行は海側車線のみに限定
- ・ホテルの海側出口からの一般車両は一方通行で東から時計回りで



Energy Challenge Okinawa 2016 大会規則

更新履歴

- ・ Rev.2 2016年 11月 17日 朱書きにて追記、削除を明示

- ・ Rev.2_1 2016年11月 22日 紫書きにて追記、削除を明示
 - ・ チェッカー時の周回カウントの方法
 - ・ トラブル時の自カピット戻りの周回カウント無効

- ・ Rev.3 2016年11月 27日 緑書きにて追記、削除を明示
 - ・ 講習会のスケジュール、題目追加 実施要項を参照
 - ・ コース一部変更 P14 図を参照
 - ・ 第2章競技規定
 - 第3条成績の4項に一部変更
 - 第15条 補 足11項トランスポンダー保証金を追加

Energy Challenge Okinawa 2016 大会規則

第1章 総則

本競技会のすべての参加者は本規則を理解し、これに同意したものとする。

第1条 競技会の名称 Energy Challenge Okinawa 2016

第2条 主催 Energy Challenge Okinawa 2016 競技会実行委員会

第3条 共催 STEAM OKINAWA

第4条 協賛 古河電池株式会社

第5条 後援 調整中

第6条 開催場所 沖縄県豊見城市 美らSUNビーチ特設コース

第7条 開催日 12月28日(水) 車検・フリー走行

12月29日(木) 車検・フリー走行・本戦

※2016年に参戦実績ある車両のみ車検対応可能

参加申込書の当該記入欄に必要事項を明記すること。

12月30日(金) 講習会・懇親会

※タイムスケジュール詳細は大会要項に示す。

第8条 参加資格

競技会当日に満14歳以上の者であること。

ただし、チームの代表者は満20歳以上であること。

第9条 参加費及び参加申し込み方法

第3章 参加規定 に定める。

第10条 大会公式Webサイト及び事務局代表メールアドレス

URL <http://energy-challenge-okinawa.science>

eメール wemgp@energy-challenge-okinawa.science

第11条 参加募集台数

原則として25台までとする。それを越えた参加申し込みに対しては、参加受理できない場合がある。

第12条 規則の改定

競技会実行委員会は必要に応じて本規則の改訂を行う。

第13条 規則の解釈

本規則に規定されていない事項については、本競技会の実行委員会が判断を下すものとする。

第14条 異議の申し立て

競技結果に対し異議を申し立てる場合、暫定結果発表後 30 分以内であれば、書面により競技会本部に提出できる。

第15条 ブリーフィング

各チームの代表者とドライバーは出走前ブリーフィングに参加しなければならない。欠席の場合は本戦に出場できない場合がある。

第16条 事故などの責任

すべての参加者、参加車両は事故・損失により損害が生じた場合、加入した保険の範囲内で受けられる補償の他は、自己の責任において対応しななければならない。

第17条 公式通知

本規則に規定されていない事項や大会本部から公式通知は常に大会公式facebookイベントページから伝達される。各チームはfacebookアカウントを有する必要がある。なお大会会場内アナウンスによる連絡は行わない。

第18条 競技運営に対する各チームの安全協力義務

1. 本戦出走90分前に参加チームはコース清掃を実施する。学生チーム（ユース・ジュニアクラス）は3名以上、社会人チームは1名以上がコース清掃への参加を義務付ける。人数分の必要本数のホウキを各チームの責任において準備すること。
2. 学生チーム（ユース・ジュニアクラス）は競技走行時間中に、ボランティア人員を2名以上コース沿道に配置させなければならない。ボランティア人員は、競技の安全を確保し、またトラブルで停止した車両が後続車両と衝突事故等の発生を回避するためのアシスタンスを行う。なお参加申し込みの際に、ボランティア人員の氏名報告を義務付ける。
3. すべての参加者は競技の趣旨を理解し、この大会が円滑に運営できるよう協力する義務を負う。

第19条 肖像権使用に関する同意事項

参加者やチーム関係者は、参加チームの関係人員や車両の写真、映像等を大会主催者、メディア関係者等が使用することに同意するものとする。

第2章 競技規定

この競技は参加者の創意工夫を生かして製作された車両を用いて、規定のエネルギーをより高い効率で利用して規定時間内における到達距離を競うものである。

第1条 コース

高低差 0.7m、最大勾配 0.4%、1 周 約1.5kmのコースを時計回りで周回する。

第2条 競技方法

1. 主催者が支給する鉛バッテリー(第11条 車両規則8に定める) 2 4 個を用いて、コースを2 1.5時間 x 2 ヒートの制限時間内に何周できるかを競う。
2. 主催者が支給する鉛バッテリーは競技出走60 1 ヒート目のスタート30分前にスターティンググリッド上にて各チームに手渡される。全ヒート通じて 4 個車両に搭載することを推奨するが、ヒート1で2個使用しヒート2で別の2個に載せ替える事も可能とする。ただしその場合、事前申告を必要とすし、後半の2個は主催者がヒート1終了まで預かる。
3. 支給電池への追充電は1・2ヒートスタート前ともに禁止する。
4. スターティンググリッド上からの一斉スタートとする。なお、スタート後、競技中の注意は別に定める。
5. スタートから2時間後に 各ヒート終了時のチェッカーフラッグが振られ、20 10 分経過した時点で競技終了とする。

第3条 成績

1. 順位は競技時間内により多く周回し、先にコントロールラインを通過した車両を上位とする。
2. 競技時間終了時点で同一周回数の場合は、最終周回のコントロールライン通過時間の早い車両を上位とする。
3. 競技終了となるチェッカー後20 10 分経過時 するまでチェッカーフラッグは振り続けられる。ここまでコントロールラインを通過する場合は、その周回数はカウントされない される。10分経過した後はチェッカーフラッグは振り終わり、この後にコントロールラインを通過する場合、その周回はカウントされない。
4. 総合順位は 1 ヒート目と 2 ヒート目の合計周回数の多い順で決定される。同一順位周回数の場合は、各ヒートの最終周回のコントロールライン通過時刻からチェッカー一時

刻までの時間合計が大きいチームの優勝とする。それでも同一値の場合は2ヒート目の順をもって順位を定めるその周回に要した合計時間の短い車両を上位とする。

第4条 スタートグリッド

1. **1ヒート目のスタートグリッドは車検の合格順にてグリッド位置受付時のくじ引きにより決定される。**
2. **2ヒート目のスタートグリッドは1ヒート目の順位によって決定される。**
3. 制限時間内にスタートグリッドに並べなかった車両は、オフィシャルの指示によりグリッド最後尾が出走したあとにピットエリアからスタートす

第5条 競技中の注意に用いるフラッグ

1. 黄旗:危険予告・走行注意
2. 赤旗:速やかに全車両停止

第6条 競技の中止

荒天等により、参加者の安全が確保できないと競技会本部が判断した場合、競技を中止することがある。

第7条 トラブルやミスへの対応

1. ドライバーを除くすべての参加者は、競技中にコース内に入ることも、車両に触れることもできない。ただし、安全確保のための緊急時を除く。競技中にコース内で車両が停止した場合は、オフィシャルの指示により、ドライバーは速やかに車両から降車し、安全確保のため車両と共に進行方向左側のコース外へ移動する。4において停車中の車両は、ドライバーが自力で修理等を行って走行可能となった場合、オフィシャルの確認を得て再スタートできる。その際の再スタート位置は車両が停止した位置の左右に関わらず、進行方向左側のコース端とする。
2. ピットエリア内においては、オフィシャルの監視の下、ドライバー以外のチーム員も車両の修理が行える。
3. コース上においては、ドライバーのみが修理を行えるが、チーム員がアトバイスをする事、部品や工具、台車をドライバーに提供することは認める。
4. スタート時、明らかなフライングが確認された場合は、2分間ピットインのペナルティが科される。
5. **コース上でトラブルで停止となった車両は、ドライバー自身の人力のみによりピットに戻ることが許される。その場合、競技コース以外のルートでピットに戻る必要がある。移動するための台車等の使用は認められる。なお、この場合、自力でピットに戻った周回はカウントされない。**

第8条 失格

1. 競技中にオフィシャル以外の人的な補助による走行が確認された場合。
2. 競技中に支給されたエネルギー源以外による走行が確認された場合。
3. 公序良俗に反する行為とみなす行為や、主催者及び運営スタッフ、ボランティアスタッフに対する威圧的言動、行動が確認された場合。

第9条 競技クラス

1. ユースクラス 大学生もしくは高専生および教員を主たるチーム員として構成され、学生がドライバーを務めるチーム。
2. ジュニアクラス 中高生および教員を主たるチーム員として構成され、中高生がドライバーを務めるチーム。
3. ユース・ジュニア各エコデンワイパーモータークラス ユースもしくはジュニアのいずれかのクラスで、エコデンワイパーモータークラスの車両で参加するチーム。
4. オープンクラス 上記1～3以外のチームで、社会人で構成されたチーム。

※上記1～3に該当するチームでも、希望によりオープンクラスとしてエントリー可能。

第10条 賞典

各クラスに対し、それぞれ第1位～第3位までを表彰する。

第11条 車両規則

1. エコデン、WEMの両カテゴリーともに参加が可能である。
2. 車両構造はドライバーの安全を確保できる十分な強度・剛性を有すること。
3. 車両サイズ 全長 3.5 m、全幅 1.3 m、全高 1.6 m以内とする。
4. トレッド及びホイールベース 特に規定は設けない。
5. 走行装置 人力等を含め、バッテリー以外のエネルギーにより、走行補助が可能な機構の装備は一切認められない。(回生エネルギーを除く)
ブレーキ ドライバーが搭乗した状態で、8%勾配のパネル上に停止、あるいは車両総重量の8%の力で引いても停止可能なブレーキを装備すること。なお、ブレーキの系統数・形式などは問わない。ペダルが付いている場合は回転しないように固定することで参加を認める。
6. 主催者が支給する A4 サイズ(縦210mm×横幅297mm)の大会ステッカーを車体の横から確認できる場所で左右各 1 カ所、合計 2 箇所に貼れる構造であること。
7. 車両ゼッケンは、各チームの責務において事前に貼り付けておく必要がある。グランプリナンバーを有するチームは仮エントリー手続きにて主催者に番号を通知すること。過去に大会参加実績のないチームは希望するナンバーを借りエントリーにて申告すること。参加受理の通知にて全てのチームにゼッケンナンバーを通達する。なお、必ずしも希望ナンバーが通知されるとは限らない。
8. モーターは特に制限はしない。

9. バッテリー 古河電池:FTX4L—BSを24個が、出走**30分前にスターティンググリッドにて**支給される。なお、支給されたバッテリーを破損させた場合は失格とする。支給されたバッテリーの充電は行わない。
10. 電動工具等の使用に際し、発動機発電機を使用したい場合は、その旨を競技会本部に連絡し許可を得ること。
11. 会場内においては、原則として発動機発電機の使用を禁止する。
12. 会場内設備のコンセントは使用できない。
13. 支給されたバッテリーの搭載確認を競技終了後に行う。**搭載確認後、支給バッテリーは主催者が回収するため、競技者は速やかに取り外し作業を行うこと。**

第12条 安全装備

1. ドライバーは製造2008年以降のJISもしくはDOT、SNELL規格の2輪または4輪車用ヘルメットと、長袖のスーツ、グローブ、靴を着用する。なお難燃性素材を推奨する。
2. 左右後方を確認できるバックミラーを装着すること。なお、視認性と範囲がミラーよりも良い場合に限りCCDカメラ等を利用したバックモニターも認める。但し競技中に常時ONの状態を保持しなければならない。
3. 警笛として使用することを目的としたクラクション装置を装備すること。
4. 駆動チェーン及びスプロケットを使用している場合は、チェーンカバーを付けるか、ドライバーとチェーン部が車体内部の壁などによりドライバー空間から遮蔽されていないなければならない。
5. 車両からドライバーが自力で30秒以内に脱出できる構造であること。車検では脱出確認テストも行う。
6. 車両の内外に危険な突起がないこと。
7. 30V以上の電圧を使用する場合は、高圧警告表示しなければならない。
8. 車検委員が安全上、改善が必要であると指摘した場合は出走1時間前までに改善しなくてはならない。
9. **制動灯 回生ブレーキ、機械式ブレーキどちらでも動作する赤色のランプが車体後方に装備され、晴天時に20m後方からでも目視できる輝度で点灯する機能を有することを奨励する。**

第13条 ドライバー

1. ドライバーの体重は搭乗状態で55kg以上とし、不足分はバランスウェイト(以下バラスト)で補う事とする。なお、ドライバーの服装・装備は車検時と走行時で同じであること。
2. バラストの材質は金属とし、あくまでも規定体重を補う目的の物とする。車両の機能に影響を与える物や車載工具、データ収集装置類は含まれない。

3. バラストは、車検時及び競技前、後のスターティンググリッドで確認する。
4. バラストは各チームの責任において事前に適切な重量の物を準備をすること。最大2つ以内で分割することを認めるが、出走前に外部から視認可能か、もしくはオフィシャルスタッフが求めた際に10秒以内に確認可能なような搭載位置とすること。

第14条 車両検査(車検)

競技に参加するすべての車両は、車両検査により車両規則に適合することの確認を受けなければ、練習走行、競技においてコース内を走行することはできない。上位入賞候補のチームについては競技終了後に再車検を行う場合がある。

第15条 補足

1. 合法的な無線機や携帯電話などの通信機器の搭載を認める。ただし、走行中はハンズフリー装置利用のみ許可する。
2. 競技用の支給バッテリーの充電は禁止とする。
3. 競技中は走行用電池以外、直接走行に寄与する電池の搭載は認めない。なお、通信装置、計測器類、コンピューターなどの別電源については、乾電池やボタン電池に限り認めるが、直接走行に寄与しないことを車検時に容易に確認できるようにすること。
4. モーターの駆動エネルギーとなるキャパシタ/大容量コンデンサーの使用を認めるが、スタート前(スターティンググリッド上)に放電(残電圧は総耐圧の1/10以下とする)されていることを証明をしなければならない。
5. 競技の走行には支給されたバッテリーを使用するが、フリー走行時はチームが持参した予備のバッテリーの使用を認める。
6. 練習走行用の予備バッテリーは等に制限を設けない。競技会場に持参できない、または新規購入する資金的余裕が無いチームに対しては、密閉タイプ12V鉛中古バッテリーを貸与する。但し、充電装置はチームが持参しなければならない。
7. 充電や作業に用いる電動工具のためのAC100V電源のための発電機は主催者が提供する。大会本部と、ピットエリアの2箇所を設置場所とする。
8. フリー走行用の充電済み鉛バッテリーは貸与される。本専用と異なるタイプであるため、各チームが自主的に変換コネクタ等の対応を準備する必要がある。練習走行用バッテリーの貸与が不要のチームはこの限りではない。

フリー走行用の支給バッテリー FPX 1288

http://www.furukawadenchi.co.jp/research/tech/pdf/fbtn70/fbtn70_21.pdf

9. 車検不合格となった車両は本戦に出走できない。
10. 空港～会場間の車両輸送トラックの運行については大会スケジュールを参照すること。輸送を希望するチームは必ず12/21までに電子メールにて下記要領の利用申請を行うこと。チームの人員の輸送は不可。車両は雨や振動にさらされても大丈夫なように梱包すること。トラックへの載せる、おろす作業はチームメンバーが行うこと。輸送による故障発生については、すべて参加者の自己責任となります。

宛先：wemgp@energy-challenge-okinawa.science

件名：空港～会場ピックアップ希望

本文：チーム名、代表者氏名、代表者電話、希望するピックアップ運航便
車両パッケージの重量、サイズ(タテ×ヨコ×タカサ)

11. タイム計測用のトランスポンダーのデポジットとして10,000円を受付にて徴収します。デポジットは本戦終了後、トランスポンダー返却と同時に返還します。

第3章 参加規定

1. 大会参加手続き～出走までの流れ

- ① 11/15 **12/10**まで
 - ・ Webフォームより仮エントリーの入力
- ② 11/18まで**12/1以降に仮エントリーチームに連絡**
 - ・ 大会主催者より受理の連絡と参加費の入金方法と保険加入手続き要領に関する案内の連絡。
(上限台数を超えた場合は不受理の連絡)
- ③ 11/30-**12/10**まで
 - ・ 大会参加費の入金。
 - ・ 車両とチームメンバーが映っているチーム写真
(jpeg形式500kb以内) を大会事務局にeメール送信
- ④ 12/15まで
 - ・ 記入、押印した誓約書スキャンファイルを大会事務局にeメール送信
- ⑤ 12/28
 - ・ 受付にて保険加入証明書を提示。
- ⑤ 競技前検査に合格
 - (誓約書、保険、車両検査、ドライバー装備品、バラストチェック)
- ⑥ 出走前点検に合格
- ⑦ 競技に出走

2. 仮エントリー手続き

参加希望者は11/15 **12/10**までに[仮エントリー申込入力Webフォーム](#)に必要事項を入力してください。なお、競技の安全確保のため、参加申し込み台数が25台以上となった場合は、参加を制限させていただく場合があります。その場合、原則として仮エントリー申込が大会事務局に到着した順番を優先させていただきます。

3. 参加可否の連絡

参加台数が上限に達し次第、期限前であっても、申し込みフォームのサイトはクローズします。クローズ前に申請した申込者であっても参加台数を超過してしまった場合、参加できない旨の連絡をすることがあります。キャンセル待ちを希望する場合はその旨の返信を下さいますようお願い致します。

4. 参加費の入金 締め切り11/30 **12/10に延期します。**

仮エントリーが受理されたチームには、参加費の支払い要領に関する連絡を送付しますので、参加費を入金してください。なお諸事情で入金が難しい場合は必ず事務局へeメールにて連絡下さい。未入金で連絡無い場合、キャンセル待ちしているチームを優先することになります。

学生（ジュニア・ユース） 大学生チーム ¥18,000—
中高生チーム ¥5,000—

オープンクラス ¥28,000—

領収書が必要な場合は仮エントリーのWeb申し込みフォームに宛名を入力をお願いします。

5. 参加キャンセルの申し込み 申請期限11/27

エントリーをキャンセルする場合、大会主催者にキャンセル理由と送金先情報を記載の上、eメールにて申請することにより、事務手続き等に要した経費を差引いた金額の参加料の払い戻しが可能です。期限以降の取り消しの場合は、払い戻しできません。

・送付先 大会事務局宛て eメール

wemgp@energy-challenge-okinawa.science

・eメールの件名：

eco2016大会参加キャンセル手続き／チーム名／代表者氏名

6. 参加者誓約書 スキャンファイルにて提出。締め切り12/15

チーム代表者は本文書末尾に付録している記入フォームを印刷して、必要事項に記入し各員の署名押印を済ませて期限内に提出してください。なお、ドライバーが未成年の場合、保護者の署名・押印が必要となります。

・送付先 大会事務局宛て eメール

wemgp@energy-challenge-okinawa.science

・eメールの件名： eco2016 同意書／チーム名／代表者氏名

7. 保険

参加受理されたチームには保険の斡旋を行います。参加チームの責任において、斡旋保険もしくは同等の補償内容の保険への事前加入を義務付けます。

大会当日受付で加入できるように現在調整中。
11月中に参加チームに加入要領について連絡します。

【参考：NATS大会で利用している保険】

・参加1名につき 500 円

株式会社損保ジャパン

普通傷害保険(レクリエーション・エコノミーラリー)

・競技当日1日間 死亡・後遺障害 1000 万円

・入院(日額)3,500 円 通院(日額)1,750 円

8. チーム写真ファイルの提出 提出物の締め切り ~~11/30~~ **12/10**

・車両とチームメンバーが映っているチーム写真。

短辺が800ピクセルより大きいサイズで jpeg形式500kb以内

・送付先 大会事務局宛て eメール

wemgp@energy-challenge-okinawa.science

・eメールの件名：

eco2016チーム写真／チーム名／代表者氏名

9. 大会受付時に提出する書類 忘れた場合は事前検査不合格となります。

・加入した保険の加入証明書のコピー（チームメンバー全員分）

Energy Challenge Okinawa 2016

誓約書

1. 私たち参加チーム代表者・関係者は、Energy Challenge Okinawa 2016 大会規則の内容に同意致します。
2. 競技参加に関連して起こった死亡、負傷、その他事故でチーム代表者および競技車両の運転者、ピット要員および車両のいずれかに受けた損害について、決して大会主催者や競技委員、競技役員、係員、安全ボランティア人員等のオフィシャルスタッフならびに、他の競技参加者やその関係者などに対して非難したり責任を追求したり、また損害賠償を請求しないことを誓約します。なお、このことは事故が上記主催団体または、大会関係者、他の参加者の手違いなどに起因した場合であっても変わりありません。
3. 私たちチームの競技車両の運転者は参加種目について、標準能力を持っており、競技の危険性や安全確保に必要な対応力を十分に有していることならびに、参加車両についてもコースまたは、競技スピードに対して適格であり、安全に競技走行を競技時間全てにわたって継続する事が可能であることを誓います。特に運転手が未成年の場合には、運転手本人の理解力、判断力、運転能力が競技走行に適格であり、所属チームが手作りで製作した車両の走行能力と、本競技の特性上の危険性についても理解していることは、チーム代表者と運転手の保護者の間で共通認識のうえ確認済みです。
4. 競技にあたっては安全の諸規則を遵守し他の走行車を故意に妨害したり危害を及ぼすことのないように注意して走行することを誓います。
5. 本大会の様子を対価を得て各種メディアに公開を行うことは、すべて主催者の権限であり、本大会広報のために私たちのチームや関係者の氏名、写真などを使用することは主催者の自由であることを承認します。
6. 私たちは公序良俗に反する行為を認めません。仮にチーム関係者に対して競技に際して薬物使用や飲酒の疑いが生じた場合、主催者が当該人物に対する必要な検査を実施することに同意いたします。

チーム代表者

チーム名 _____ 署名 _____ 印 _____

ドライバー

ドライバー氏名 _____ 印 _____

(ドライバーが未成年の場合) 保護者署名 _____ 印 _____

控えドライバー (いない場合は記入不要)

ドライバー氏名 _____ 印 _____

(ドライバーが未成年の場合 保護者署名) _____ 印 _____